しあわせの杜

しあわせ祈願の宮
本荘神社発行　第14号

〒500−8369
岐阜市敷島町９−24
honjojinja-gifu.in.coocan.jp/

ご朱印とは？
～学べる神社講座から

本荘神社宮司　今津　隆弘

昨今、寺社の御朱印集めがブームとなり、特に若い世代の方が多く見られます。昨年は、天皇陛下の御即位に伴う様々な儀式が行われましたが、元号が改められた五月一日には、多くの寺社に御朱印を求める行列がテレビ等で報道されました。中には十時間待ちの神社もあったようです。

岐阜市内でも、金神社は毎月月末の金曜日を「プレミアムこがねデー」として、金文字の御朱印を実施し、毎月、二千人以上の多くの方が金文字の御朱印を求めて行列することで有名ですが、十月二十二日の即位礼の日や、十一月十五日の大嘗祭の日にも金文字の御朱印が実施され、「四時間待ち」とのことでした。

当神社でも平成二十七年から御朱印対応をしております。

ただ、神職常駐ではないため、祭典日など限られた日の対応で参拝者にはご不便をおかけしております。

今回は、神社本庁の啓発資料を参考に御朱印の歴史を振り返り、折角足を運んで頂く御朱印に対して正しい知識を持って集印（御朱印集め）をしてもらいたいと思います。

◎印の歴史を紐解く

昨年執り行われた皇位継承儀礼の中で、最初に行われた儀礼が「剣璽等承継の儀」です。この儀式では、天皇の皇位の象徴として古代より伝えられる「三種の神器」と、「御璽」と「国璽」という二つの印章が受け継がれました。

「御璽」は、天皇の公式に用いる印章で、宮内庁の解説によれば、詔書（法律・政令・条約の公布文）、条約の批准書、大使・公使の信任状・同解任状、全権委任状、領事委任状、外国領事認可状、認証官の官記・同免官の辞令、四位以上の位記等に使用され、刻印は「天皇御璽」とあり、陛下がお名前を親署したところに押印されるところから、これを「御名御璽」と云います。

一方、「国璽」は勲記に押印され、「大日本国璽」と刻されています。明治維新以前は、「天皇御璽」と刻印された「内印」と「太政官印」と刻印された「外印」が用いられ、国の公式印として用いられましたが、明治四年に「太政官印」は廃され「大日本国璽」が国璽に定められ今日に受け継がれています。

印の歴史を遡ると、最も古い事例は『魏志倭人伝』に、当時の邪馬台国の女王の卑弥呼に、統治者の証として、「親魏倭王」と記された「金印」を授けたと記されていて、三世紀には、こうした権威の象徴として扱われていたことがわかります。下って七世紀の『続日本紀』大宝元年（七〇一）六月己酉（八日）の条に、

使を七道に遣して、新令により て政 を為し併せて新印の様を頒付す。

大宝令の「公式令」によって「印制」が規定されました。

捺印をすることで、権威を示し、次に文書を保証し、併せて不正を防止する事が目的でした。「公式令」には、印の規定を詳細に示しますが、印肉の色彩の記述はみられません。

しかし、令制印においては、朱印のみが原則の印であったとみられ、当時「朱肉印」と「墨印（黒）」がありましたが、朱印に比べて略式（私的）なものとされました。黒印は文書以外の写経印、蔵書印、または印仏のような特殊なもののみに限られました。すなわち、公式文書の証が「朱印」でした。

天皇の名代として、派遣された国司の、その統治の正当性の表徴である国印と国庁正倉の鑰は平時は厳重に保管されました。今に残る印鑰神社は、国印と鑰を御神体としてお祀りする神社です。

十一世紀の平安時代、平将門が関東諸国の国府を襲い、国印と正倉の鑰を奪い、自らを「新皇」と称し、反乱を起こしました。やがて、反乱は鎮圧されますが国印や正倉の鑰の重要性を物語る出来事でした。

◎厄除けの護符としての朱印

神社や寺院などで授与される「牛王宝印」は厄除けの護符です。

様々な寺社の護符の中で、最も神聖視されたのが「熊野牛王符」です。俗に「オカラスさん」とも呼ばれる熊野牛王神符（牛王宝印）は、カラス文字で書かれた熊野三山（本宮・新宮・那智各大社）特有の御神符です。

熊野牛王神符は、熊野信仰の人々をあらゆる災厄からお守り下さる御神符です。

さらに時代が進み、鎌倉時代になるとご神符は「誓約書」ともなり、江戸時代には「起誓文」の代わりとしても用いられました。

◎納経受取の書付が御朱印の起源

納経とは、書き写した経巻を寺社に奉納して神仏の加護や故人の冥福を祈ることを云います。

このとき納経受取の書付と判を

もらいました。これが帳面になって寺の本尊と参詣の年月日を記入して判をもらうようになったのが納経帳の起源と云われています。納経受取の書付が、江戸時代の中頃になると、納経せずに「参拝の証」に変化していったと考えられています。

◎信仰の証としての御朱印

最近、お城で御朱印が出され、観光資源の一つになっています。神札や御守が「神様の力が宿った神聖なもの」とされるのに対し、御朱印は「参拝の証」の印ですが、神札や御守と同様に、信仰に基づいているからこそ尊いのです。

御朱印をきっかけに各地の神社の縁起や地域の歴史などに触れながら、そのご神縁に思いを寄せることで一層魅力的なものになるのではないでしょうか。

私自身、『諸国一宮朱印帳』を持って一宮の朱印集めと史跡巡りや、各地の食文化を愉しんでいます。全国で九十九ヶ所のうち、漸く三分の二に達したところです。

昨今、神社や寺院では芸術的な凝った御朱印も多いようです。

神社と寺院、お城など、それぞれに目的(目標)別に集めると、達成感があって良いと思います。

令和の御代替わり、思い思いの朱印帳を持って旅を楽しみませんか？

神社と地域コミュニティ

本荘自治会十支部

支部長　武田　裕治

新年明けましておめでとうございます。

一昨年四月に支部長となり、任期まで残すところ後数か月となりました。この間、本荘神社の多岐にわたる祭事に参加させていただき、多くの事をお教えいただき、またお世話になり、心よりお礼申し上げます。

さて、日本には、神社が八万社以上あり、岐阜県には新潟・兵庫・福岡・愛知に次いで全国第五位の三千二百社以上あるそうです。(平成三十年度文部科学省宗教統計調査)

これは、戦国武将ゆかりの地や、中山道が通り宿場町が多かったことがその理由と考えられています。こうした神社は、地域コミュニティの中心でもありました。

しかし、近年多くの地域では、神社の存在が人々の意識から外れていっています。

本荘神社は、今津宮司さん・神社総代を始め、保存会・敬神婦人会・ボランディア隊・巫女舞保護会・子ども会・神社合唱隊・花壇委員会など多くの方により支えられ、神社の祭礼・行事が盛大に執り行われており、「地域がお宮を守り、お宮が地域を守る」という、神社と地域コミュニティの素晴らしい共存が図られていると思います。

最近は、日本各地で大雨、台風など自然災害が多発しています。また、東海トラフ巨大地震が三十年以内に七十～八十パーセントの確率で発生するといわれています。災害を食い止めることはできませんが、被害を軽減するためには、「自助、共助、公助」が重要です。「自助」とは自らの命は自分で守ること、「共助」とは隣近所が助け合って地域の安全を守ること、「公助」とは行政が自助・共助では解決できない問題への対応です。

自治会としては、災害が起こったとき、「共助」のために皆が協力しあえる地域づくりに努めていかなければなりません。

こうした地域づくりのためにも、皆様とともに、地域・コミュニティづくりを更に育てていかなければならないと考えています。どうぞご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

私は、本荘神社の祭事・行事を通じて、子ども達の本荘神社への強い思いを感じました。

「本荘神社夏まつり」では、この日のために一所懸命に貯めた小遣いを財布に入れ、バザーのチケットが販売されるテントの前で待ち続け、チケットを買うと一目散に目当ての物を求め走り、そして友達と一緒に楽しく遊び話している子ども達。巫女舞を、緊張しながら懸命に舞う子ども達。例大祭の神事や巫女舞を目を丸くして見つめる子ども達。茅の輪くぐりをして燥ぐ(はじゃぐ)子ども達等々。

こうした子ども達が、本荘神社の楽しい思い出を心に刻み、社会人となり本荘を離れることがあっても、鮭が母川に回帰して来るように、いつの日か本荘神社という川に帰って来てくれるものと信じています。

最後に、新年に当たり、本荘神社並びに皆様方のご発展ご多幸をお祈り申し上げます。

本荘神社が大好きです

フラワーアーティスト

きたがわ　じゅんこ

若い頃から神社が好きでした。困った時の神頼みは、正直よくないと思いますが、この本荘神社にお参りに来てしまいます。

私の夢の一つとして、お化粧のモデルになることでした。この年齢で、素顔が綺麗と選ばれた時は、驚きましたが、色々な経験が出来ることは、人生にとって素晴らしく、有難く思います。全国ＴＶＣＭです。現在は東京と岐阜を行ったり来たりですが、必ず本荘神社には来ます。

お花の講師をして、二十五年です。息子・諒司は、東京で頑張って

おります。世に名前が出ることを信じております。

健康で感謝の気持ちを忘れずに、毎日暮らしたいと思います。人生には目標を持ち、日々努力が必要だと思います。

本荘神社は、私にとって大好きな神社です。ありがとうございます。

銀杏洗いに参加して

総代　竹中　浩一

十月二十六日に銀杏洗いに参加しました。初めてでしたので、右も左もわからない状況でした。

綱を張って木箱を水に浸しておいた銀杏を入れ、家庭用のゴム長手袋で銀杏の皮を剥いでいきました。銀杏の桶は五個程あり、二時間かかって、皮を剥いた銀杏を洗濯機で洗い、銀杏の皮剥きが終わりました。

お正月に参拝者に配る銀杏の準備はこうして行われます。

参加された皆さん、お疲れ様でした。ここで一句。

「本荘の銀杏洗いの
　ありがたさかな」

しあわせ祈願の宮 本荘神社誌を拝読して

郡上市　棚瀬　秀樹

天皇陛下御大典・銀幣社指定四十周年記念『しあわせ祈願の宮　本荘神社誌』の発刊、おめでとうございます。社誌の編纂に関わられた皆様には心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、私は平成二十年度から二十一年度にかけて、本荘中ノ町自治会より氏子総代として、本荘神社の各種行事に参加し、平成二十二年度に氏子総代を退任することを契機に「本荘神社ボランティア隊」に参加させて頂きました。

この『本荘神社誌』を読み、改めて当時のことを思い出し、懐かしさがこみ上げてきました。

私たち日本人が、ある場所で居を構え生活する上で、その地域の伝統や文化、歴史的背景を知ることは重要なことだと思います。過去の災害を伝承する地名や字名など、時として家族の命を守るうえで重要な事柄を含んでいることもあるのではないでしょうか。

本荘神社誌では、第一章の「本荘の歴史」において古くからの地名の変遷や合併の歴史など、現在住んでいる私たちの知らない歴史的な経緯を事細かく調べられています。この地で居住する私たちは、地域の歴史的背景や、先人の労苦を知り、また将来の子々孫々に引き継いで行く責任があるのではないでしょうか。

また、第二章の「しあわせ祈願の宮本荘神社の御由緒」では、御祭神である素盞嗚尊の神話や神統譜など、日頃あまり気にかけていない事柄をわかりやすく丁寧に記され、神社役員の方々のが尽力され、復活した「うろこ餅」の謂れや、「雨乞い踊り」や「巫女舞」など各種行事についても知ることができました。

現在、私は仕事の関係もあり、岐阜市本荘を離れ、郡上市八幡町に住んでいますが、私の家にも職場にも、常に氏神様である「岸劔神社」のお神札を祀ってあります。

土木関係の仕事をしている私にとって、工事現場での事故防止や災害が発生しない一年となることと合わせ、地域の安全・安心を祈りながら公私にわたり祈願しているところです。

最後に、私が「本荘神社ボランティア隊」に参加した時の話をさせていただきます。当時は、各自治会から二名の氏子総代があてられ、本荘神社の各種行事の運営補助をさせていただきました。二年間の任期を終えると氏子総代を離れ、なかなか神社へ関心を継続してもらえないという話を聞き、当時の役員の方々に相談して、現在の隊長である田村さんと一緒に参加者を募り、「本荘神社ボランティア隊」を立ち上げました。

その際には、氏子総代を退任された方や新しく神社とかかわりを持ちたいと、ご理解いただいた方々に賛同いただき無事にボランティア隊を設立しました。

ボランティア隊の活動は、強制ではなく、自発的な参加を促し、隊員の方々の負担を軽減するとともに、私たちのように新しく本荘に超してきた人と、元々本荘に澄んでいらっしゃった方々の交流の場として活用していただけるようなものと記憶しております。

氏神様である本荘神社を通じて、地域の方々の交流や伝統が次代を超えて継続され伝えられるとともに、復活した各種行事が今後とも継続され、本荘地区のますますのご発展と、地域の皆様の安全・安心をご祈念申し上げます。

ラグビーワールドカップ日本の活躍
～犠牲の精神でワンチームに～

いちだクリニック　市田　正成

新年、明けましておめでとうございます。

今年は、いよいよ東京でオリンピックが開催されます。沢山のアスリートが私達に感動と勇気を与えてくれることでしょう。昨年暮れには、日本開催のラグビーワールドカップで、ベスト8と大活躍をした日本代表チームの凱旋パレードが、銀座で行われました。ジェイミー・ジョセフヘッドコーチ、リーチ・マイケル主将を中心にワンチームとなり、予選リーグを見事に四連勝して悲願の目標でもあった決勝トーナメントに進出をしました。

このチームは、年間三百日にもわたる合宿で、徹底的に激しい練習を積み重ねてきました。その練習内容は、壮絶で体力のギリギリ限界まで肉体を酷使するというもので、あの屈強な選手達でさえもこれ以上は体が壊れてしまうので危険だと感じた程の激しいものだったそうです。そこまで追い込まなければ、格上の海外チームには決して勝てないということを全員が自覚していたからこそ乗り越えられたのでしょう。

そもそもラグビーというスポーツは肉弾戦ですから、中途半端な気持ちで行っていると、取り返しのつかない大怪我をすることになりかねません。ましてや日の丸を背負って戦うことになった彼らには、命を差し出す覚悟があったからこそ、一つ一つのプレーが正に命懸けであり、多くの感動を生み出したに違いありません。そこに至るまで、どれ程の犠牲を払ってきたことでしょう。にわかファンの私でさえも、目頭が熱くなります。

パレードでは屈強な三十人の選手達が応援してもらったファンへの感謝の気持ちを込めて、笑顔で手を振りながら堂々と行進をしていました。しかし中には、稲垣啓太選手のように笑顔を全く見せない選手もいました。諸説あるとは思いますが、私は笑顔を見せない選手がいても不思議ではないと思います。「我々は本当に命を懸けて頑張ってきたのです。そのことを分かって下さい」というメッセージを彼の強面から感じました。正に男の中の男です。一見無愛想に見える彼ですが、その反面母校のラグビー練習場に、後輩が本式の練習ができるよう自費で芝生を寄付する等、優しい心根の持ち主でもあります。

また、もう一人私の心に残ったのは、パレードの最初から最後までずっと涙を流しながら歩いていた田中史明選手でした。ひときわ小柄な選手であるにも拘わらず、八年前のワールドカップ以来ずっと代表を努めてきた選手の一人です。その八年前のワールドカップでは一勝すらできず敗退した、辛い経験も味わいました。それでもあたたかく見守って頂き、今回の快挙に至るまで、応援し続けて頂いた人々のことを思うと、感謝の気持ちでいっぱいになり、涙が止まらなくなったそうです。彼もまた、本当に心の優しい人だと思いました。その様子が画面に映し出される度に、もらい泣きをしてしまいました。

挨拶のスピーチでは、リーチ・マイケル主将が「犠牲」という言葉を三度も口にしていたことが最も印象的でした。「犠牲」という言葉を、ｇｏｏ国語辞典で調べてみて下さい。

一、神、精霊に捧げる供え物
二、目的の為に損失を厭わず大切なものを差し出すこと…と記されています。最も分かりやすいたとえは、野球で「犠牲打」「犠牲フライ」という打法があります。バッター自身は打数に繁栄することも無くアウトになりますが、それによって走塁者は活かされます。つまり、彼らはプライベートを含め、多くのものを「犠牲」という名の下に神様に捧げることで、大きな目的を達成することができたのではないでしょうか。そしてそこに、ご家族や関係者、国民の祈り…それら全てが大願となりワンチームとして、日本の八百万の神様に届いたのではないでしょうか。

また、ワールドカップと同時期に起こった災害の復興にも、彼らは大きな勇気と希望を与えてくれました。八百万の神様に心からお礼を申し上げたいと思います。

「ワンチーム」が昨年の流行語大賞に選ばれたことは喜ばしいことで、どこか聖徳太子の「和を以て尊しとなす」を連想させる意味合いが感じられ、協調・協和を大切にする日本古来の精神道に相応しい響きを覚えます。それら全てが、彼らの「犠牲と覚悟の精神」から生まれた言葉で、きっと神様も感激をされたのではないでしょうか。

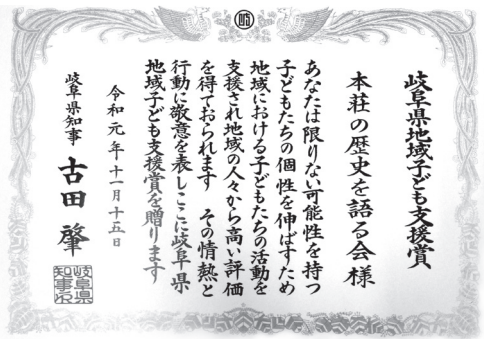
母国開催のオリンピックで、沢山の感動とメダルを授けて頂けるよう、神様に祈りましょう！

岐阜県地域子ども支援賞を受賞
本荘の歴史を語る会

「本荘雨乞い踊り」を百年ぶりに復活に導いた本荘の歴史を語る会（会長浅野晃一郎）が地域の推薦により、令和元年度「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞し、去る十一月十五日に岐阜羽島不二文化センターに於いて表彰状の伝達が行われました。

本表彰は、三年以上継続して地域の子どもたちの様々な活動を支援する個人及び団体に贈られる賞で、大正十三年以来、途絶えていた「本荘雨乞い踊り」を復活させ、本荘小学校の放課後クラブとして児童が伝統文化の担い手となって活動している現況が評価の対象となりました。

今後も、皆様の活躍をご期待申し上げます。



〔社務所ニュース〕
本荘神社社務所に神札御守授与所を設置

令和元年七月以降、今津宮司が土曜・日曜・祝祭日に社務所に詰め、参拝者の御朱印対応に務めております。予てより、参拝者の便宜を図るため、御朱印対応窓口の設置について役員等で検討を重ね、宮司の発案により、社務所の式台に板戸を付けて、畳み一畳分の神札御守授与所を設置する事と成りました。

早速、保存会の坂根建具工業の坂根好久さんに作業を依頼しました。十一月十四日に斎行した大嘗祭当日祭に併せて設置清祓いを行い、当日から開所致しました。

大祭の時は、板戸を開けて祭典用玄関として使用し、普段は板戸を閉じて、神札御守授与所として活用して参ります。

平日は、不在ですが、おおむね土曜・日曜・祝祭日には宮司が対応致しますので、御用のある方はお立ち寄り下さい。

《学べる神社講座について》

毎月の月次祭に併せて、「学べる神社講座」を開催しております。

ご関心のある方はご参加下さい。参加費は不要です。

○二月一日(土)
　建国の由来とは?
○三月七日(土)
　おみくじの起源と意味
○五月二日(土)
　『日本書紀』とは?
　　ー撰上一三〇〇年に因みー

＊一月は正月のかたずけ、四月は「鱗餅」作りのため「学べる神社講座」はお休みします。

《御朱印対応について》

ご希望の方は、土曜・日曜・祝祭日に神札御守授与所までお越し下さい。

御朱印料は、三〇〇円です。

《月次祭・限定御守について》

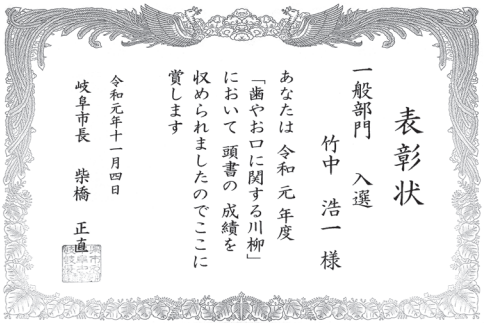
月次祭限定・桐箱入り「結縁守」

当社では、月次祭に神前に供え祈願した特別な「結縁守」を当日の午前中のみの限定で授与しております。御祭神・素盞嗚尊は縁結びの神様として良く知られ、また本荘神社の四方の神々とのご縁を結び、しあわせを祈る御守です。

初穂料金一、〇〇〇也

月次祭当日、社務所で授与致しますのでお願い致します。

総代　竹中浩一さん
令和元年川柳で入選



表彰状

一般部門　入選

竹中　浩一　様

あなたは 令和元年度「歯やお口に関する川柳」において 頭書の 成績を収められましたのでここに賞します

令和元年十一月四日

岐阜市長　柴橋　正直

敷島町十丁目選出の総代、竹中浩一さんがこの程、岐阜市が募集した「歯やお口に関する川柳」に応募し、入選されました。

応募総数二、一六三点のうち、一般部門の入選者は十名でした。

入選した川柳は次の通り。

「磨こうね
それが我が家の合言葉」

行事・お知らせ

◎一月の行事

・一月　一日　歳旦祭
　午前十時　斎行
・一月　一日　四方拝
　午前十時三十分頃
・一月　四日　午前九時
　本荘スポーツ少年団野球部
　必勝祈願
・一月　四日　月次祭
　午前十時　斎行
・一月十二日　午前十時三十分
　県岐阜商高野球部必勝祈願
・一月十四日　左義長神事
　正午　斎行

編集後記

たくさんの原稿をいただき、ありがとうございました。

次回は、令和二年五月に、第十五号を発行する予定です。

皆様からの原稿を募集致しますので、是非とも宜しくお願いします。

【本荘部会ニュース】
天皇陛下御即位記念事業の一覧

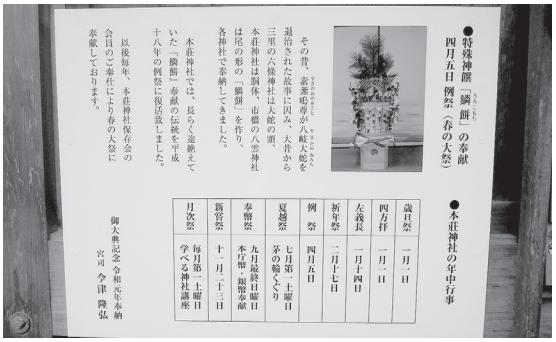
今津宮司が兼務する本荘地区内の神社で、御代替りや、天皇陛下御即位記念に関する様々な事業が行われましたので、ここにご紹介申し上げます。

☆本荘神社

1、『本荘神社誌』出版

2、境内案内看板設置
・社務所玄関看板

・鱗餅説明祭礼案内看板



・しあわせ祈願碑案内板

・新聞紹介記事

☆八幡神社（多羅里）

・御由緒案内板設置

☆神明神社

・御由緒案内板設置

☆稲荷神社（豊竹稲荷）

・稲荷鳥居建替え

・御由緒案内看板設置

☆熊野神社

・鳥居の修繕

地震の影響で、笠木がずれ、石鳥居の修繕工事を実施。

・由緒案内板、連絡掲示板設置

熊野神社の鳥居修繕費、祭典用太鼓は今津宮司の奉納。

その他、各神社に設置された由緒案内板は、全て今津宮司の発案と奉納で賄われました。